大正八年三月七日 第三種郵便物認可 昭和三年十一月廿四日 THE IWAKIJIHO (土曜日) 第四千四百六十四號 (一)

廿三日夕刊

磐城時報

小名濱商港問題
縣會通過の運動
小名濱町で開始

小名濱商港問題は愈々來る縣會に提案される事になり縣當局は勿論地元小名濱町有志等は無事議會を通過せしめたい方針で主務省に對し過般來運動を續けてゐたが、同町では去る十九日臨時町會を開き同商港の實現についての運動方策につき具体的の協議を重ねる處があつたが、二十二日町會議員小野務平氏外數名は上京し主務省に向つて猛烈な運動を開始した。

明治から昭和迄
米價變遷
平町役場調査

明治元年から昭和二年までの米價變遷左の如し(一ヶ年間平均價格―平町役場調査)

明治元年 一升	六錢五厘
二年	十錢
三年	八錢
四年	四錢五厘
五年	二錢四厘
六年	四錢二厘
七年	六錢
八年	五錢二厘
九年	三錢六厘
十年	三錢五厘
十一年	五錢三厘
十二年	七錢二厘
十三年	九錢九厘
十四年	九錢
十五年	七錢四厘
十六年	五錢五厘
十七年	四錢七厘
十八年	五錢九厘
十九年	五錢八厘
二十年	四錢三厘
二十一年	四錢二厘
二十二年	五錢一厘
二十三年	七錢三厘
二十四年	六錢四厘
二十五年	六錢五厘
二十六年	六錢七厘
二十七年	八錢三厘
二十八年	八錢二厘
二十九年	八錢八厘
三十年	十錢八厘
三十一年	十一錢六厘
三十二年	九錢二厘
三十三年	十錢四厘
三十四年	十一錢四厘
三十五年	十二錢二厘
三十六年	十三錢五厘
三十七年	十二錢八厘
三十八年	十三錢五厘
三十九錢	十四錢
四十年	十六錢
四十一年	十四錢八厘
四十二年	十二錢八厘
四十三年	十二錢九錢
四十四年	十六錢七厘
大正元年	十九錢八厘
二年	十九錢一厘
三年	十二錢八厘
四年	十四錢一厘
五年	十四錢八厘
六年	十九錢八厘
七年	廿八錢六厘
八年	四十九錢
九年	四十錢
十年	卅二錢八厘
十一年	卅二錢九厘
十二年	三十錢九厘
十三年	卅七錢二厘
十四年	三十七錢
昭和元年	三十四錢
二年	三十一錢

編輯兼發行人 福島縣石城郡平町紺屋町十四 岡田弘成
印刷人 福島縣石城郡平町[illegible]町十四
印刷所 [illegible]活版所
發行所 福島縣石城郡平町[illegible]町十五 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金[illegible]
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊(日曜、祭日)休刊

安藤子爵
歡迎の宴

先代信篤侯第十三回法要のため二十二日午後五時來平した安藤信昭子爵は住吉屋本店に投宿し二十三日は小名濱地方を視察したが、平町長伏見彥衞、平安會長青沼銈太郎兩氏發起で二十三日午後五時から谷口樓で歡迎會を開く筈である、尚ほ安藤子爵は二十四日午後平安會を招待し慰勞の宴會を開く事になつた。

▲夏井陪審員

夏井村では二十日午後一時から同村役場で陪審員の抽籤を行つたが如左
▲山本勝義、箱崎玉之助、高木竹治、山名仙之助、坂本金吾、坂本榮吉

▲詩南社懇親會

平町文藝同人社「詩南社」では、かねて計畫中の御大典奉祝紀念「詩南軍特輯第十九號」を發行するに至つたがその披露懇談會と八島冬全氏の送別會とを兼ね廿四日午後六時半より南町裏日本基督平教會で開催する事になつた

平魚市場創立總會
社長に加納五郎氏當選

資本金十二萬の平町魚市場は募集した株式の拂込も順調に終つたので二十二日午後二時から平町聚樂館に於て創立總會を開催した、滿場異議なく定款の承認をなし役員選擧の結果

▲取締役 加納五郎、皆川新一、加澤保太郎、野崎滿藏、佐藤作平
▲監査役 伊藤彌平、我孫子才三郎、福尾伊太郎

の各氏當選し取締役に於て互選の結果社長に加納五郎氏當選した。終つて社長加納五郎氏から相談役、顧問の指名あり

▲顧問 眞木栢、中田政吉
▲相談役 中野甲藏、山田文一、金澤春吉

の各氏を任命したが、この外更に相談役三名を任命する筈で、之は七濱の魚商人中から適當の人を選んで任命する方針で目下各濱に於てその人選中である。

今、明日
磐中の演習

磐城中學校四年、五年生の發火演習は既報の如く二十三日、二十四日の兩日に亘り勿來町、植田町附近に於て擧行されるが、當日は若松步兵第二十九聯隊から機關銃隊一分隊が加はり猛烈な戰鬪を行ふ筈である。

中野磐越銀行頭取が
關係方面に依賴狀
現時の財界狀態について

平町磐越銀行では平銀行休業によつて地方財界が動搖の傾があるので頭取中野甲藏氏は左の如き書狀を二十三日一般預金者その他關係方面に配布した。

肅啓 陳者今更贅する迄もなく昨年中央財界の波及より本縣財界に及ぼしたる危急は本春に至り本縣下に波及し其不祥事は本縣に累を及ぼし歷史信望共に高き先輩同業者が伸びむが爲めに屈したる事とは言ひながら不祥事を如實に見るに至りたるは均しく御同憂に不堪所に有之候而して弊行の過去を顧みるに誠に幼弱共に談ずるに足らざる感あり、加ふるに不肖の不德より始終各位の御配慮を絕たざる所なりしは、誠に汗顏恐縮に奉存候此の時に當り弊行は創立の由來に鑑み意義ある實在を期し度存念より從業者一同の日夜焦慮は言ふ迄もなく一意難局打開に努め各位のせめても の御安心を希ふことに黽勉罷在候次第親敷御諒承賜り度候却說如斯難局に處しては獨り弊行の弱少なる努力は其効果薄きは言ふ迄もなく、御得意樣の御諒解と强力なる御援助に御信賴申上ぐるより外無之儀に御座候、一例を以て申上候へば一日五千圓の入金過は一ヶ月十五萬圓の手許金と可相成、之れに反して出金過と相成候はば夫れ丈の逼迫を察するに至り、之を補ふ爲めには貸附金の回收に俟たざるべからず、貸附金の回收は當時の情勢にて一件半歲を要するの實狀に有之候、さりとて急激なる回收は亦財界の基調を保持する所以にあらざるを以て其間斷へざる苦心を拂ふと雖も支拂に充當不足を感ずる結果に可相成、而して夫れより生ずる不祥は更に不祥を生ずる成行に相成可申候、されば此の際銀行業の成立の事由を御賢察の上「磐越」存立せしむべしとの御信念と御俠情とを以て弊行營業上に倍舊の御後援御同情を寄せられ度伏して切願仕候

是間接に地方財界維持達成せらるゝ一助とも可相成事と奉存候

弊行は事業其ものが公的機關たるに鑑み、絕對に其使命を完成すべく、苟もせざることを附言し渾身の衷情を披攊し貴聞を汚す次第に御座候

右申上度如斯御座候 敬具

各銀行預金
賣買いたします
平町田町【電話四六五番】
駒場株式店
「まだ早い」は「遲れる基」
手續は無料でして上げます

▲湯本無盡移轉

湯本 信用無盡株式會社では十月二十二日重役會を開き營業所を湯本町三函百四十九番地に移轉した

阿部忠晏を
告訴沙汰

茨城縣太田町稻田覺太郎は平町の山野邊辯護士を代理人として石城郡泉村阿部忠晏外五名を相手どつて二十一日平支部に脅喝傷害の告訴を提起した。

內容は大正十五年三月阿部は同郡小名濱、玉川、泉一町二ヶ村に所有して居た田三十四町步、畑二十二町九反步を稻田に賣却しておきながら小作人の小名濱町菅原彌作外六十名に小作料を請求したが納めなかつたので部下數名を引率して脅迫し小作料に相當する物品を受取り更に先月二十五日稻田が小作料請求のため小名濱町に來て錦盛館に投宿したのを知るや部下に命じて稻田を同町の喜久野屋料理店に誘ひ出して暴行したといふのであるが

告訴された石城郡泉村阿部忠晏は稻田に對し誣告の告訴をすると共に土地賣買契約不履行による損害賠償の民事訴訟を起すことになつた。

理由は稻田を小名濱町の喜久野屋料理店に誘ひだして暴行したのでなく稻田から喜久野屋で會見したいと申込み喧嘩はしたが短刀で脅迫しあるひは暴行した事實は更にないといふのと稻田に賣却した土地を阿部は三萬圓で買戾すことに契約したのに拘らず稻田はその土地を擔保として仙臺市の信託會社から六万五千圓を借出したといふのである。

大工の無錢飲食

高久村大字神谷作大工職前科一犯菅波正恒（三六）は二十二日午後十時頃平町南町飲食店佐藤屋に無錢にて登樓し四圓三十錢分の飲食をなし逃走したのを二十三日平署に捕はれたが、同人は佐藤屋の外鶴屋、花月、吾妻その他で三十數圓の無錢飲食をなした事を自白した。

◆廿三日春り

アイタグラフ映畫
原名「愛すべき野獸」
決勝裸一貫 七巻

◆マキノ御室秘藏篇
妖艶阿松五月信子出世主演
鬼神 前篇 拾巻
助演澤田敬之助、荒木忍、五味國男、中村東之助、河上君江、大林梅子、住江田鶴子、
▲尾上紋十郎主演 圍碁奇談
柳田角之進 全七巻
嵐璃徳、嵐徳太郎、林誠太郎松葉笑子助演

◆常キネ作品
亭主關白
濱田格、藤間林太郎、鈴木信子、起照子

十日曜學生デー
有聲座

聚樂館で
軍事劇公開

町田陸軍大將、荒木陸軍大學校長等が賛助をしてゐる帝國軍事劇協會では二十四日から平町聚樂館で軍事劇を公開するが、初日出し物は日露戰役軍事探偵劇沖と横川五場、乃木將軍父子四場、天王寺の腹切二場等で俳優中には長崎武中尉、今城周久少尉が交り出演の筈である。

◎良品廉賣に勝る商略なし!!!
磐城セメント會社特約店
和洋銅鐵金物問屋 **釜屋商店** 磐城平 電話（九一三九番）
◎確實敏捷は㊄の生命なり!!!

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 **西村屋藥舗** 平町二丁目 電話三番

盛美酒眺月
鮪の鮨 酒
平町四丁目平驛通 電話二〇七番

生花盛花折入
古流教授 家元師範 松望齊 **吉田理秀**
（毎週日曜）平町大町若松病院向いづみや方
筑前琵琶教授 有山旭千師直門 **吉田旭良**
平町大町若松病院向いづみや方

外科 外科一般、耳鼻科、花柳病科
婦人科 産科、婦人科
内科 X光線科
平町字田町（電話四七五番）
赤心堂病院

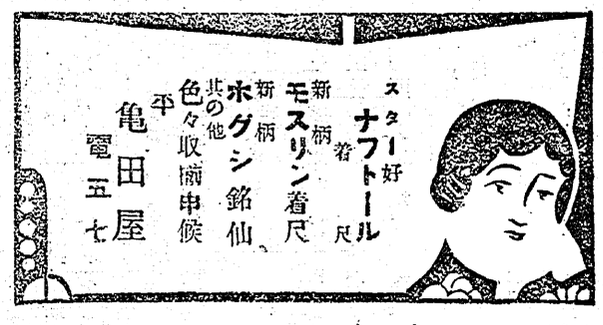
内臓外科專門 藤本順
骨關節外科 整形外科
産婦人科 科長 木村寅次郎
婦人科 院長
外科
産婦人科 **木村醫院**
平町新川町（電話一六四）

滋養、強壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒 **粟守酒**
朝の一盃は精力の根源、晩の一盃は休眠の助力
粟守酒特約店 **大平屋藥店**
代價入日分壹圓九十錢 平町一丁目（電六四二）

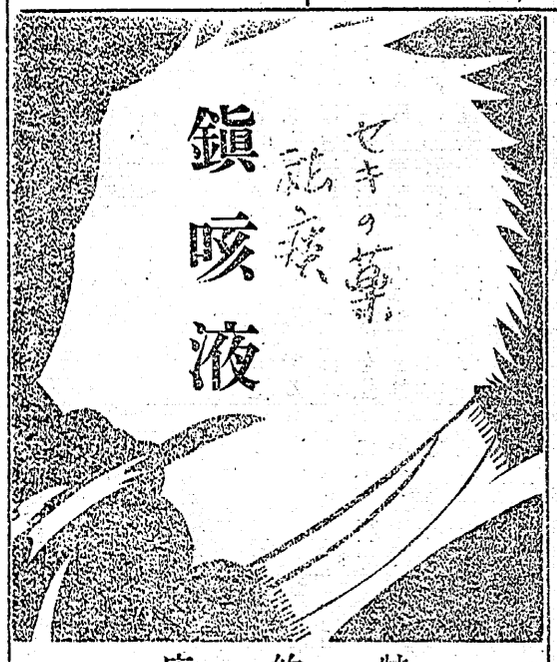
美味にして強壯の効著大
血をふやし肉を肥やす
スポン飴 大阪府堺市 檜尾長命堂 本舗 各藥舗食物店ニテ賣ル
ホツスポン錠 定價 三十錢
ヘモグロビン ホツスポン酒 定價 二圓
代理店 平町五丁目角 **山野邊藥局**

淋病、消渇に奇妙に良くきく
濟淋 特價（八日分一、五〇 十六日分二、八〇）
効力偉大なると、胃腸を害することなきは既に試用者各位の定評なり。病める方よ、一時も早く試用され病苦を去られよ。
製藥發賣元 平町研町（公園下） **水野藥局**

産婆 自宅に於て妊産婦をお取扱ひ致します
草野靜枝
平町研町九番地（公園下）
電話（呼出）四四三番



寒サ愈々迫ル
皆サンノ御希望スル新柄防寒具各種入荷
子供洋服 子供オーバー
婦人シヨール 婦人毛シヤツ
毛アンダー コツトンシヤツ
壹圓均一ノ特價ワイシヤツ 賣切レヌ中ニ
平町 電四十 **ツルヤ商店**



特約店
關内藥局
平町四丁目 電話四〇番

貸家

白銀町 勤人向 六圓五拾錢
仝 商店向 貳拾參圓
仝 三十五圓
同 二十二圓
同 二十圓
仲間町 勤人向 三圓五十錢
同 同 三圓五十錢
同 同 三圓五十錢
同 同 五圓五十錢
同 同 五圓五十錢
柳町 同 六圓五十錢
同 同 七圓五十錢
鷹匠町 同 八圓
同 同 十圓

電話讓渡、貸渡致升
平町白銀町【電話三二番】
加藤營業所